

中曾根

やすたか

vol.7 2024.10

衆議院議員 中曾根康隆の
情報をお届けします

通信

あなたの声をカタチに、実感に。

古い政治と決別し、
新しい日本を切り拓く。

衆議院議員 **中曾根 康隆**



新自民党・ 政治改革への 覚悟

信頼なくして政策なし。政治とカネの問題をはじめ、自民党及び政治が失った信頼を取り戻すべく、党として解体的出直しをする必要があります。

旧態依然の古い政治資金の在り方や悪しき慣習を一掃し、国民に理解される透明性の高い政治を実現しなければなりません。今後20年、30年先まで責任を持って政治改革・国家運営に取り組める我々世代が先頭に立って主導してまいります。



中曽根康隆 9つの政策

Yasutaka Nakasone

1

脱依存により “真の自立国”へ



国家安全保障・エネルギー安全保障・食料安全保障、この3つの安全保障において他国への依存を極力減らしていくことが重要。有事の際に他国との関係が機能しなくなった時、または自由貿易が機能不全に陥ったときに、他国に頼らずに国民が生き延びることができる体制を作ること自立国家としての大前提。平時における同盟国・同志国との関係強化はもちろんのこと、防衛、エネルギー、食料において可能な限り自己完結できる体制の構築を目指す。

4

“人口減少社会”を チャンスに



出生率を上げる対策を進めることを前提としても、人口減少の流れは簡単に変えられない状況で、いかに賢く縮小するかが問われている。特に地方においてはデジタルの活用により様々な行政サービスを省人化、効率化して住民の生活の質を維持する必要がある。また圧倒的割合を占めるシニア世代に活躍してもらうことで労働力を確保すると共に、日本のGDPを押し上げるような仕組みを作り出す。成熟国家、人口減少社会先進国として日本モデルを確立し、それを世界に出していくチャンスと捉える。

7

国の未来を決める“教育”



子どもたちは我が国の未来そのものであり、その子たちへの教育は国力の最も重要な要素である。義務教育における教員の処遇を抜本的に改善し、本来の業務に専念してもらえるようタスクの分業を進めるとともに、これまでの知識詰め込み型の教育ではなく、自ら考え行動できる主体性を伸ばす教育を徹底する。同時に今後深刻化する労働力不足も見据え、社会人でもシニア世代でも、いつでも学び直して社会に貢献できる仕組みを構築するためのリカレント教育も充実させる。

2

“地方経済再生”が 急務



都市部と地方、大企業と中小企業は全く違う状況であることをしっかりと認識し、物価上昇を上回る賃金上昇を実現させる為にも、サプライチェーン全体での価格転嫁を徹底すると同時に「下請け」という概念から脱却する必要がある。これにより中小企業までしっかりと稼げる仕組みを作っていくことで、地方においても健全なインフレのサイクルを作り出す。結果、我が国が直面する「安い国、ニッポン」から「良いものが高い国、ニッポン」を目指す。

5

親の負担を 激減させる “子育て”



子育てにお金がかかりすぎる現状を変えるためにも、妊娠、出産、学費など成人するまでにかかる経済的負担を極力少なくする必要がある。その為の積極的な財政支出や税優遇を大胆に行う。同時に、親の物理的な負担を軽減する為にも子どもを預ける場所、シッター制度などを大幅に拡充し、子育て=自己犠牲という現状を変えていく。

8

国民の手に 取り戻す “憲法改正”



今とこれからの時代に即した憲法を、国民の手によって初めて作ることが自立した国への本当の第一歩。昨今の厳しい安全保障状況の中で国民の意識も変わってきており、自衛隊の明記を含めた重点4項目に加え、我が国の歴史や文化を反映した独自の前文も必要である。

3

日本独自の“外交”戦略



引き続き米国及び西側諸国との関係強化を前提としながらも、「必要とされる国」、「頼られる国」となるべく独自の外交戦略を展開する。その為にアジアやグローバルサウスとの連携を深め、それを強みとして世界の中で重要な橋渡し「BRIDGE」役を担うことが、我が国の存在感を飛躍的に高め、同時に我が国や地域の安定に寄与するものと確信する。また我が国が大切にしている価値観（人間の尊厳に光をあてる、仁徳、おもいやり、他者ファースト）により、世界の分断を止め、共存共栄を図っていくべきであり、これこそが日本にしかできない外交だと考える。

6

抑止力を さらに高める “防衛”



自国の防衛力を抜本的に強化することで初めて他国との連携が可能となる。装備や新技術の研究開発への投資に加え、何よりも人（自衛官）への投資が重要。また処遇や環境を改善することで質の高い自衛官を確保育てる事が急務である。同盟国・同志国との連携を深め、自国として及び地域としての抑止力を高めることで戦争を起こさせない体制を構築する。

9

次代に継承できる“農業”



肥料・飼料や資機材の価格高騰に苦しむ農家が、安心して営農を継続できるよう対策を講じる。その為にも農産物が正当な価格で販売され、農家はその恩恵を受けられる仕組みを作ることが必要。農業の世界でも価格転嫁を徹底し、農家に継ぎえがないことが大切である。これにより農家の所得を向上させ、担い手を確保し、国内における生産量、供給量を安定させることが食料安全保障上も極めて重要と考える。

活動報告



台湾出張で頼清徳総統と。安全保障、経済、多国間協力など意見交換しました。



前橋育英所属のパリ五輪金メダリスト、櫻井・元木両選手祝勝会。おめでとうございます！



国会見学に来てくれた群馬の小学校の皆さんに挨拶＆国会のご紹介。



40℃近い気温の中、地図を見ながら一軒ずつレポート配り。厳しい意見もたくさん頂戴します。



市議や町議と谷川岳に初登頂。山頂のトイレをなんとか改修できないか動いてみます。



今年も県内各地のお祭りに参加させて頂きました。多くの皆さんから率直な意見を聞ける貴重な機会です。



自民党総裁選に関するテレビ番組のゲストとして生出演。様々なトピックで私見を述べました。



総裁選では小林鷹之代議士の推薦人として一緒に駆け抜けました。群馬視察の帰りの新幹線での一枚。



子育てを通じて...

子供達も4歳半となりました。自己主張も強くなり、既に反抗期？でしょうか。しかし、子供達から多くを学ぶ日々。私にとって最愛の小さな先生です。この子達のために良い国を残したい、と強く思う今日この頃です。

大好評発売中



中曽根康隆 公式 やっちゃんLINEスタンプ

イラスト満載のLINEクリエイターズスタンプを発売中です。ご家族・ご友人、皆さんで楽しく使っていただくと嬉しいですよ！



LINEスタンプショップ「中曽根康隆」で検索してください。



SNSにぜひご覧ください/
日々の活動をアップしております
SNS・サポーター登録はこちらから！



中曽根康隆をご支援ください

自民党員募集

中曽根康隆の活動を党員となってさらに強力にお支えいただける方を募集しております。



ポスター掲示 サポーター募集

ご自宅・会社等にポスター掲示板を設置していただける広報サポーターを募集しております。党員・ポスター掲示にご協力いただける方は、右記前橋事務所まで電話でご連絡ください。



中曽根康隆プロフィール

- 昭和57(1982)年1月19日生まれ
- 群馬県前橋市在住
- 慶應義塾大学 法学部法律学科 卒業
- 米国コロンビア大学院 国際関係学修士号取得
- JPモルガン証券株式会社
- 中曽根弘文参議院議員 秘書
- 第48回 衆議院議員総選挙 自民党北関東ブロック 当選
- 第49回 衆議院議員総選挙 自民党群馬1区 当選 2期目
- 防衛大臣政務官(第二次岸田内閣)
- 自民党青年局長代理



ぜひお立ち寄りください

前橋	〒371-0841 群馬県前橋市石倉町3-10-5 TEL/027-289-6650 FAX/027-289-6623
国会	〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館 923号室 TEL/03-3508-7272 FAX/03-3508-3722